

# 移乗用品

介護リフトやスライディングボード、スライディングシートなどの移乗用具を使用することにより、介護者の負担を軽減しさらに利用者の安全と安心を確保します。

## 人の手で行う移乗介護による利用者の不安

移乗介護の際に、介護者の無理な抱きかかえ等により、利用者が体の痛みや不快感を感じる場合があります。

- 抱えられると痛い
- 怖い(恐怖心)
- 過度の緊張
- 皮膚損傷
- 骨折



## 利用者にとって安心できるケアを実現します

介護者には負担を軽減、利用者には安全・安心感を与えるための移乗用具があります。



## 施設(介護者)がかかえる問題

- 従業員の過不足状況
- 介護職員・訪問介護員の離職率
- 従業員の労働条件等についての悩み、不安、不満等

介護者の腰痛による労働災害申請件数が、他業種より飛び抜けて増え続ける昨今、リフト等の福祉機器を使用することで人力による人の抱き上げを行わないなどの厚生労働省の腰痛予防対策指針も盛り込まれてきています。

腰痛を引き起こす主な場面



前かがみでの持ち上げで腰部にかかる圧力は、**立位時の3.8倍!**

損傷のトライアングル



## 福祉用具の活用

電動ベッド、ストレッチャー、スライディングシート、スライディングボード、スライディンググローブ、スタンディングリフト、床走行リフト等移乗方法の選択には、簡易移乗介助選択シートを活用!



## 腰痛予防対策を考えた安全な介助(ケア)とは

腰痛予防体操や腰部保護ベルトの使用では身体の激しい負担を減らすことには限界があります。

- 介助姿勢の改善
- スライディングボードやリフトなど移乗用具の使用
- 十分な作業スペースの確保
- 経営者・施設長の理解
- 従事者への教育



### 簡易移乗介助選択シート

2018年度

このシートは、ベッド・車椅子・ボータブトイレなどの移乗方法を選択するシートです。利用者/患者によって、身体機能が低下した割合や認知症などで協力できない場合は、安全性を考慮した上で移乗方法を検討して下さい。身体状況がよくわからない場合には、専門家に相談の上、一緒に検討してください。

軽度	スタート	はい	いいえ
1	自力で安定した立ち上がりや方向転換ができる	必要に応じて、動作の見守りや誘導、声掛け、ベッド高さ調整、滑り止めマットなど	<input checked="" type="checkbox"/>
2	怪力につかまれば自力で立ち上がりや方向転換ができる	ベッド用介助バー、手すり、マットレス選定、声掛けでの誘導	<input type="checkbox"/>
3	手すりなどにつかまれば自力で立ち上がりや方向転換ができる	非電動スタンディングリフト(前方サポートタイプ) 電動スタンディングリフト(前方サポートタイプ)	<input type="checkbox"/>
4	自力で立ち上がりや方向転換ができる	スライディングボード(座位移動) スライディングボード(座位移動) スライディングボード(座位移動) 介助ベルトとの併用(二人介助)	<input type="checkbox"/>
5	介助にて座位を保つことが困難で、前上がりも介助が必要(特に股関節、膝などに問題がない)	電動スタンディングリフト(前方サポートタイプ) 電動スタンディングリフト(前方サポートタイプ)	<input type="checkbox"/>
6	関節疼痛、痛み、筋力低下など全身状態が不安定で標準的な姿勢である	床走行式、ベッド固定型、レール走行型(天井走行、滑車型)などのリフト及び吊り具の選定	<input type="checkbox"/>
重度		リフト及び特殊吊り具(リフト移動) エアシステムなど	<input type="checkbox"/>

※本表はあくまで参考であり、実際には現場での状況に応じて変更してください。

- 介護保険制度
- 衣類・肌着
- 歩行補助用品
- 車いす関連用品
- ベッド関連用品
- 床ずれ防止関連用品
- 移乗用品
- 入浴関連用品
- 排泄・トイレ
- 住宅安全管理
- 介護予防・レクリエーション
- 施設用品
- 食事・口腔ケア
- 自活・自助具
- 生活・健康用品